

〔質問〕

年の初めの1月1日が天文学的にキリの良い「冬至」とか「春分の日」などでなく何故あんな半端な日なのかどうしても判りません。ことによるとこれを制定した当時の王様のお誕生日だったのでしょうか。
杵鞭充千男（東京都）

〔回答〕

1月1日がなぜ年初か

古く、**太陰暦**、**太陰太陽暦**、**太陽暦**、またはエジプトのようにシリウスが日の出前に昇ってくる時を年初とした**恒星暦**ともいえるような暦のように様々な暦が各文明でうみだされました。それぞれの年初も別々であったと思われまます。日本では、明治6年（1873）太陽暦に改暦されましたが、それ以前の暦は、中国から伝わった太陰太陽暦で、年初は冬至の後約1カ月半の立春の頃で、月初は朔（新月ともいわれますが）日でした。

現在、私達が使っている暦は、世界の多くの国々でも使われているグレゴリオ暦で、そのルーツを探りますと、1582年、教皇グレゴリオ十三世の名において、ユリウス暦を改暦したものです。ユリウス暦は4年に1回閏年を置いたので、平均の1年の長さが365.25となり、実際の太陽年の長さ365.2422日に比べて差があります。このため、長い間にずれてきていた春分の日をもとの3月21

日頃にもどすという宗教的理由がありました。グレゴリオ暦は、4年に1回閏年をいれますが、400年に3回閏年をぬくことで平均365.2425日となり、ほぼ実際の太陽年の長さと同しくなります。

ユリウス暦はBC46年に、ユリウス・カエサルによって制定されましたが、年初もこの時公式に**Jan.**（1月）1日と決められ、それが現在まで踏襲されているようです。ユリウス暦のもとになった古ローマ暦は、**Mar.**の月から始まり10カ月しか名がつけられていず、残りの約60日は付加日でした。後に**Jan.**、**Feb.**の2カ月の名が加えられました。閏年には年末であったFeb.の月を1日増やすこと、月名が例えば、**Sept.**が7の意味であることはその名残りです。後にローマ暦は、習慣上は、**Mar.**を年初に使い、公用年の年初には冬至近くの**Jan.**を用いたようです。ローマ暦は太陰太陽暦だったようですから、月の初日は朔日です。カエサルは、太陽暦を使用するにあたってBC45年、古ローマ暦の様に**Jan.**1日を朔日にスタートさせようと、前年を445日にして時をあわせ、新しい暦を始めたようです。しかし、太陽年と朔望月の12カ月は一致しませんから、今になってみれば、1月1日は天文学的にも何の意味もない日になってしまったわけです。

伊藤節子（国立天文台）

編集委員	佐藤修二（編集長）、一本 潔、梅村雅之、奥村幸子、谷川清隆、堂谷忠靖、半田利弘
平成4年8月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12
定価 550円(本体 534円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
	電話 (0422)31-1359
	社団法人 日本天文学会 啓文堂 松本印刷 社団法人 日本天文学会 振替口座 東京 6-13595